2025大阪・関西万博における
10歳若返るパビリオン Anti-Aging EGG 構想

「いのちが生まれる」そんな象徴となる卵・繭をイメージ。
この中で新しく生まれ変わる。歳を消し去る。
そして誰もがいきいきと過ごしていく。
そんなきっかけの場所になるよう、想いを込めたデザイン。

Anti-Aging EGG

「10歳若返る世界」が、このたまごから生まれます。

ここでは、歳をわすれ、歳の障壁をなくすことで、
ひとりひとりの個性が活きる、いのちかがやく「生きがい」体験が得られます。
歳が消えてしまった不思議な空間で、自分自身のアバターと出会う中で、
楽しみながら自然にマイデータを計測します。
顔認証技術など先進のテクノロジーを通じて、
内外の多様な人々とのつながりや、来場前に登録したマイデータとのリンクを実現し、
10歳若返るための意識変化を促します。

大阪から、日本と世界の人々の「人生100年時代」をもっと幸せなものにしたい。
このたまごから生まれた気づきや感動が、
未来を変えるレガシーとなることを目指します。

2025大阪・関西万博におけるパビリオン群の役割

役割①

「2030年(※)のその先」の「いのち輝く未来社会」のひとつの姿を具現化する

(※)2030年はSDGs達成の目標年次

役割②

新たな価値観を生み出し、新たな夢を抱けるような体験を提供する

記憶に残るような斬新な体験を提供する

役割③

大阪・関西の強みを活かし、大阪・関西のさらなる発展につなげる

一過性で終わらせないレガシーを残す

役割④

世界と交流する・若い世代を応援する

多様な人々の参加を促す

役割⑤

SDGs達成に貢献する

該当するゴール

(3) すべての人に健康と福祉を
(9) 産業と技術革新の基盤をつくろう
(11)住み続けられるまちづくりを
(17)パートナーシップで目標を達成しよう

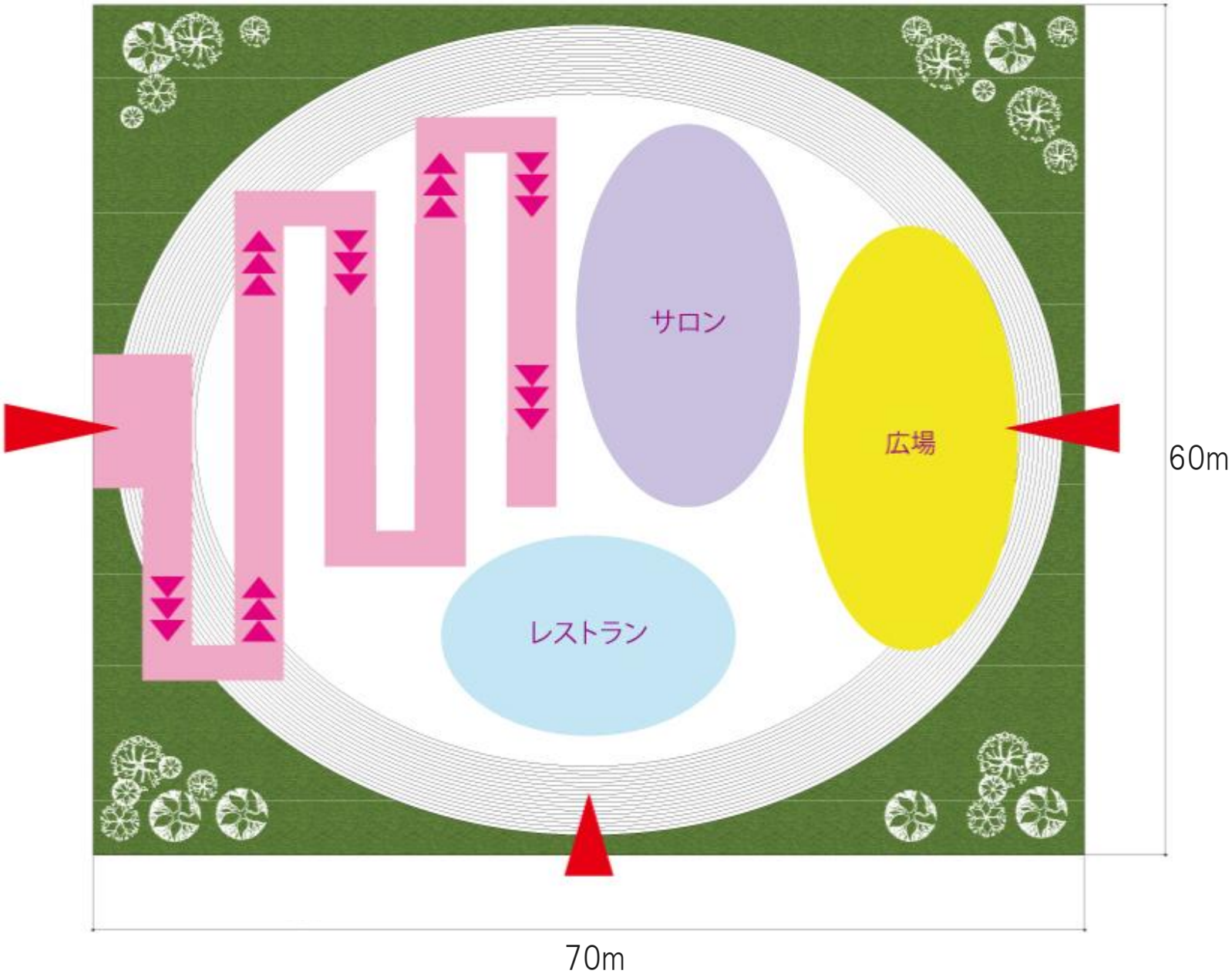
2025大阪・関西万博の方向性

VISION	PLACE	EXTENT	PROCESS
SDGs達成+beyondに向けて	「未来社会の実験場」にふさわしい会場計画	日本の飛躍の契機に	多様な参加者による共創プロセス

THEME
いのち輝く未来社会のデザイン

経済産業省　大阪・関西万博具体化検討会　万博計画具体化検討ワーキンググループ　報告書「新しい時代の万博」の具体化に向けて(2019/7)

パビリオンの構成イメージ①



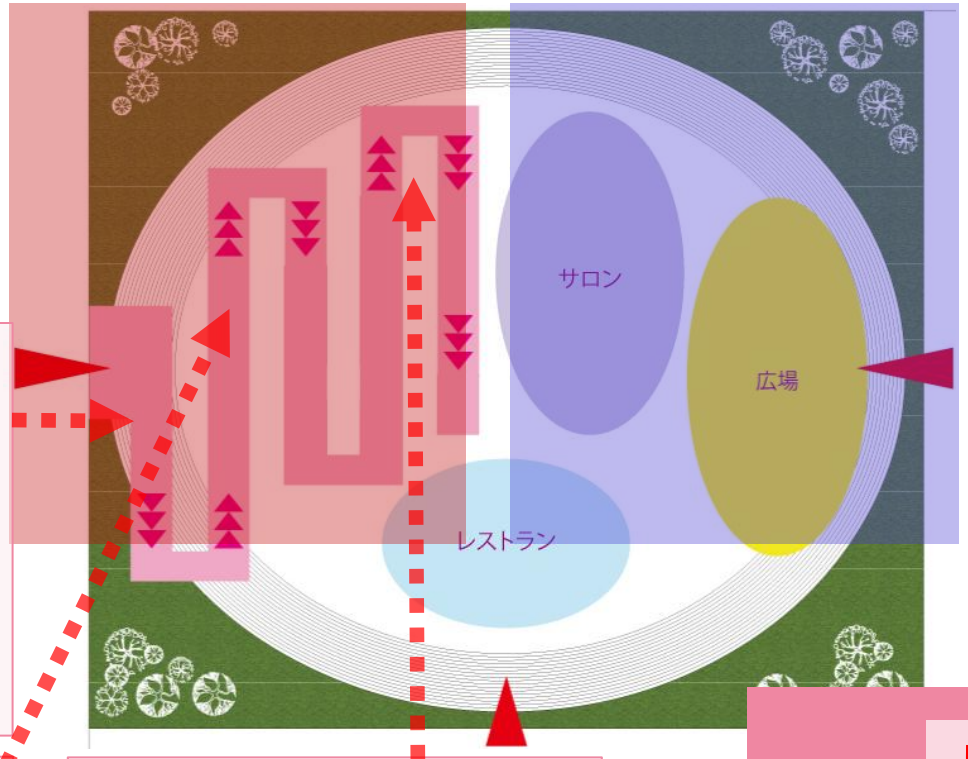
パビリオンの構成イメージ②

10歳若返る旅

来場者がマイデータを楽しみながら自然に計測する。
・強制動線としての動く歩道。
・エリアでストーリーが分かれており、ひとつひとつの体験を楽しみながら、名データが自動的に計測される。
・来場者個人に適した10歳若返りを提案する。

歳をわすれるエリア

エントランスで、若者もシニアも、すべての来場者が、年齢の概念をいったんリセットする。
・だれもが同じように、だれもが差を感じることのない体験を提供する導入部。
・「10才若返る旅」が始まるストーリー構成をつくりだす。
・顔認証システムで個人を特定し、パーソナルデータの取得や、多言語対応、パーソナルサービスの提供につなげる。



AI コミュニケーションエリア

「10歳若返る旅」のストーリーの中では、AIを駆使したアバターが来場者体験をサポート。
・ゲーミフィケーションによって軽度運動を促し、反射速度などから、パーソナルデータ(〇〇年齢)を計測。
・脳内の活性化や個人の嗜好性など来場者のパーソナルデータを収集。
・データをAIが解析し、個別提案に活かす。

こころのエリア

「10歳若返る旅」のクロージングとして、来場者のこころに働きかける体験を与える。
・10歳若返りへの意識変化を促すため、アンチエイジング医学にもとづく気づきを与える。
・こころの健康計測や、生きがい・やりがいにつながるコミュニケーションなどを通じて、未来に向けた行動変化の意欲を高める。

生きがいに気づく世界

「いきいきと生きる」ための気づきを伝えるコンテンツとして、続けられる「10歳若返り」体験を可視化。
・広場・ステージエリア：誰もがアクセス可能な大人数対応のゾーン
・サロン：さらに深い10歳若返り体験ができるゾーン
・期間中、イベントを繰り返し実施。世界の人々が参加する体操やヨガ、身体を動かすゲーム、そして笑いと音楽体験など。10歳若返り実証事業体験も取り込む。

しあわせのレストラン

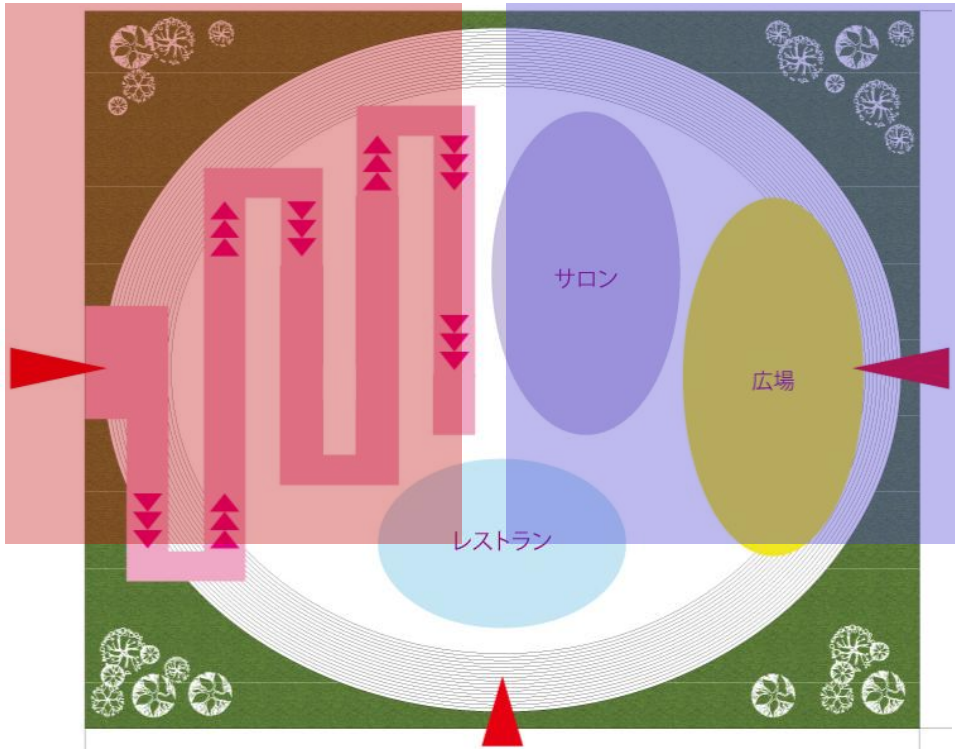
来場者個人に適した10歳若返りメニューを自動でお勧めする、「発見がある」レストラン。
・「10歳若返る旅」で収集したパーソナルデータを活用。
・生きがいに気づく世界からも、パビリオン外からもアクセスできる位置に設置。
・だれもがおいしさを体験でき、未来の理想の食生活を続けられる工夫に満ちた、しあわせのレストラン。

パビリオンの構成イメージ③

10歳若返る旅

<動く歩道サイズ>
幅3m×長さ150m
スタートからゴールまで約300名が
同時に体験。

1人の体験時間を約15分と想定すると、
1日当たりの体験人数は**約11,500名**。
※1日の営業時間を8時間で算出。



生きがいに気づく世界

<広場サイズ>
奥行き15m×長さ40m
広場だけで1,000名程度の収容が可能。
その外側からも参加・視認が可能とすると、
約1,500名の参加が可能。

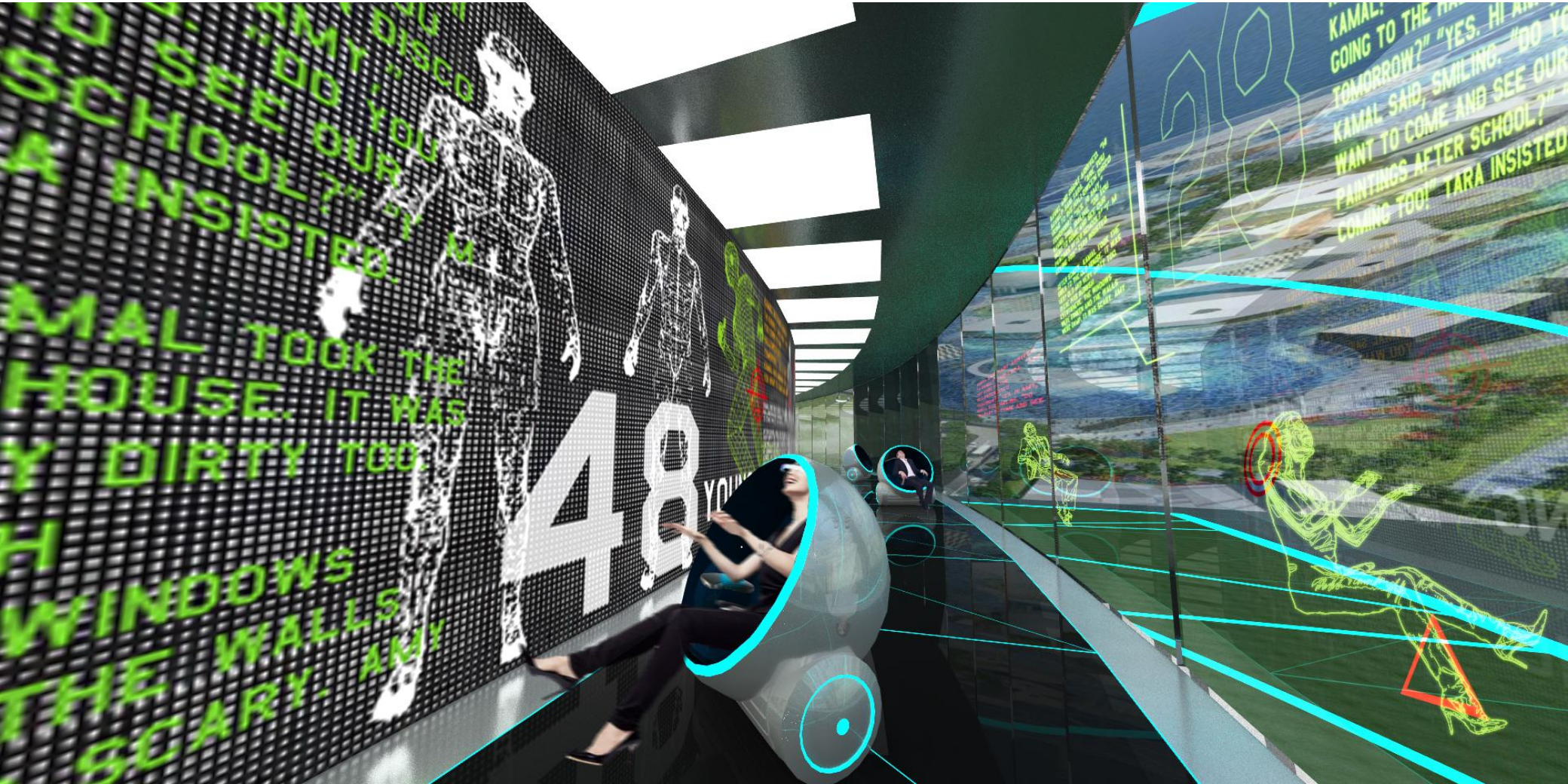
<サロンサイズ>
奥行き15m×長さ25m
空港ラウンジのようなしつらえで、
スクール形式で**約250名の参加**
が可能。

しあわせのレストラン

<レストランサイズ>
奥行き20m×長さ30m **100名のキャパシティ**

パビリオンの内観イメージ　10歳若返る旅

来場者は自動追従のチェアに腰掛け、ゾーンで分かれたストーリーを楽しみながら10歳若返る旅を体感。
旅の中で、ひとりひとりをセンシングして、パーソナルな情報を収集。
その情報は来場者が装着したグラスを通して伝達。
最後に個人の体の詳細情報と、10歳若返るレストランをご案内。



パビリオンの外からも視認できる環境で、大人数を収容するステージを併設した広場。
大型映像では、海外とリアルタイムにつながっている様子が映し出されている。

パビリオンの内観イメージ　しあわせのレストラン

来場者に合わせたおすすめメニュー情報が提示されるレストラン。
調理～サーブは自動化されていて、すべてロボットが行う。
10歳若返る旅参加者には、収集したパーソナル情報に合わせたオリジナルメニューが提供される。